

共同利用・共同研究拠点の中間評価項目(案)

第3回資料における新旧対照表の「新」の項目を赤字で修正

本項目は、「共同利用・共同研究拠点 中間評価用調書」にて提出を求める事項を定めたものである。

I. 研究施設の概要

1. 目的・概要(研究施設として)
2. 人員
3. 予算の状況【22(23)～24年度】
 - 歳出決算額
4. 研究施設の研究実績等
 - (1) 研究施設における研究成果の概要
 - (2) 競争的資金等の採択状況
 - (3) 主な受賞状況
 - (4) 当該研究施設を利用して学位を取得した大学院生数

II. 共同利用・共同研究への取組状況

1. 目的・概要・役割(拠点として)
(ネットワーク型拠点の場合は各構成機関の果たすべき役割を記載し、同一分野複数拠点の場合は拠点の特徴、他の拠点との役割分担等を記載)
2. 大学学則、大学組織規則等への記載状況
3. 組織図
4. 運営委員会等の状況
 - (1) 運営委員会等の開催実績
 - (2) 運営委員会等及び共同研究委員会等に関する規則等
 - (3) 運営委員会等の所属者名簿等
 - (4) 共同研究委員会等の所属者名簿等
5. 共同利用・共同研究の募集、施設の利用要領等に関する情報発信
6. 共同利用・共同研究課題の採択状況【21(22)～24年度】
7. 共同利用・共同研究の参加状況【21(22)～24年度】
(所属機関数、参加人数、うち外国人、うち大学院生)
 - 学内(法人内)
 - 国立大学
 - 公立大学
 - 私立大学
 - 大学共同利用機関法人
 - 独立行政法人等公的研究機関
 - 民間機関
 - 外国の研究機関
8. 共同利用・共同研究に供する施設・設備及び資料等の利用状況等【21(22)～24年度】
 - (1) 研究施設・設備の利用状況

- (年間利用人数、共同利用人数、年間稼働可能時間、稼働時間、共同利用時間)
- (2) 学術資料の利用・提供・整備状況(保有数、利用件数)
 - (3) データベース作成・公開状況(情報量、利用(アクセス)件数)
9. 共同研究のための研究会・シンポジウム等の実施状況【21(22)～24年度】
(形態、開催回数、参加人数)
10. 独創的・先端的な学術研究を推進する特色ある共同研究活動
11. 国公私を通じた研究者の参加を促進するための取組
12. 共同利用・共同研究を通じた特色ある人材育成の取組
13. 関連分野発展への取組
(大型プロジェクトの発案、大型プロジェクトの運営、ネットワークの構築 等)

Ⅲ. 共同利用・共同研究に参加する研究者に対する支援の状況

- 1. 参加する研究者への支援体制の状況
 - (1) 共同利用・共同研究に参加する研究者への支援者数
 - (2) 共同利用・共同研究に参加する研究者への支援の状況
(東日本大震災で被災した研究者に対する支援を含む)
- 2. 参加する研究者の利便性向上等の環境整備の状況
(共同研究者の研究スペースの確保、宿泊施設の確保等)
- 3. 参加する研究者の支援のための特色ある取組
- 4. 拠点活動に対する全学的な支援の状況(人員、予算を含む)

Ⅳ. 関連分野の研究者コミュニティの意見の反映状況

- 1. 研究者コミュニティの意見や学術動向の把握への取組とその対応状況

Ⅴ. 共同利用・共同研究による成果【22～24年度】

- 1. 共同利用・共同研究を活用して発表された論文数等
(論文数、高いインパクトファクターを持つ雑誌等への掲載、出版物の発行部数 等)
- 2. 共同利用・共同研究による特筆すべき研究成果
- 3. 共同利用・共同研究活動が発展したプロジェクト等
(プロジェクト名、主な財源、期間、概要)
- 4. 公開講座、公開講演会等の実施状況

Ⅵ. ネットワーク型拠点の**特徴的事業実績及び相乗効果**

Ⅶ. 拠点としての貢献(最終的なアウトカム)

(参考)

- 1. 拠点を置く大学(法人)の機能強化・特色化への関わり
- 2. 拠点としての現状の課題及び今後の展望

(備考) 波線は、共同利用・共同研究拠点の実施状況報告書及び研究活動等状況調査に含まれない項目を示す。